

タマネギ（極早生）「肥大力K」散布テスト

試験圃場 福岡県久留米市
品 種 超極早生 「春いちばん」
定植日 2017年10月上旬 早出し栽培 収穫予定日 2月下旬～3月中旬
テスト商品 肥大力K (0.2-0.0-3.0) カリウム液肥 主に根菜類などへの肥大が期待される。
目 的 肥大力K 散布によるタマネギの肥大、収穫量への影響を確認、対照区との比較。
散布日 11月30日より1週間おきに3回散布
散布方法 肥大力K 500倍にて葉面散布 (テスト範囲：約1坪/希釈液1回につき約2ℓ)
収穫日 平成30年3月26日(月)
結 果 散布区、対照区ともにそれぞれ5株を掘り取り、大きさの見た目と重量の比較をした。
 結果、散布区が対照区に対し大きく、重量も149%の効果が確認された。
 今回は試験的に通常植付よりも早い時期に植付し、2月収穫の早出し栽培を試みた
 が、年明け後の強い冷え込みの影響で生育が停滞し、3月下旬の収穫となった。



定植から約2ヶ月半後。散布区は11/30より3回500倍液を葉面散布。

●対照区

●散布区

対照区より葉も大きく力強い。

平成30年3月26日(月) 収穫調査



左：肥大力K 散布区

右：対照区

両区ともに各5株を抜取り比較。

株	散布区	対照区
①	300g	245g
②	290g	180g
③	310g	170g
④	280g	235g
⑤	325g	180g
合計	1,505g	1,010g
1株平均	301g	202g

散布区は対照区に対し149%と増収。茎の太さや玉の大きさに差が出た。



肥大力K 散布区の根の状態



対照区の根の状態

根の状態を確認。散布区の根の張りがよく、養分吸収力にも差が出たと思われる。